



▲中央中体育館で行われた講演会

## 武富豊監督講演会

中央中立志式で語る

1月18日、天満屋女子陸上部監督の武富豊さんが、中央中立志式で講演会を行いました。女子マラソンで4大会連続してオリンピックに選手を送り出している武富監督は、北部中出身。後輩の生徒たちに、「みんなと同じ中学生から陸上を始め46年間携わってきました。好きなことを職業にできたことを幸せだと思っています。中学時代走ることで、何もできない自分が居場所を見つけられました。仲間と一緒に走ることのでき、自分を認めてくれる仲間がいて、陸上を続ける原動力になりました」と話し、「これが好きだということを見つけ、ぶれずにやり遂げてほしい。続けることが大切で、続けたことで達成感を得て自信につながってほしい」と激励しました。

## 女山大根育てたよ！

北部小5年生が総合的な学習で取り組む

北部小5年生59人は、「多久の特産物を調べよう」と女山大根の栽培に取り組みました。1学期に調べたさまざまな多久の特産物の中から女山大根を栽培しようと決めて、「幡船の里」の船津忠伸会長から大根の種をもらい、9月に種まきをしました。水やりが大切と教えてもらったので、班で曜日を決めて毎日水やりをし、休みの日も欠かさず続けました。

1月に収穫し、女山大根を使った料理にも挑戦しました。サラダ、大根ステーキ、大根もちや炒め煮などを作り、先生やみんなでも味わいました。

学習を終えた5年生たちは、「みんなで育てた大根は20～30cmと小さかったけど、採れたので良かった」、「ものを育てる大変さやありがたみがわかった」と話していました。



▲女山大根を収穫する児童たち

▶女山大根料理に取り組んだ児童たち。  
「自分たちが育てたから、おいしかった」と大満足



## 砂原区で防災訓練

2/3

砂原区自主防災会と市の防災安全課を中心に、同区の防災訓練を行いました。昨年7月の豪雨で、区内も多くの被害が発生したことを受けて企画したもので、婦人会や老人会、消防団、役員など約80人が参加しました。

参加者は区内全域を巡回し、危険箇所や防犯灯、消火栓の場所などを確認。国土交通省武雄河川事務所の協力を得て、砂原区独自の自主防災マップを作りました。その他、土のう作製と炊き出しも行いました。



## 税金について知ろう！

1/30

子どもたちに税金の役割や大切さを知ってもらおうと、多久市、税務署、県税事務所が市内の小学校で租税教室を開きました。

1月30日は、納所小の6年生を対象に市役所税務課の職員が、税金の種類や消費税率などの問題を出したり、税金がなくなった暮らしをアニメで紹介。児童らは、職員の説明で一つひとつ確認し「税金の種類は少し知っていたけど、使い道は知らなかった。なくては困ることが良くわかった」と熱心に学習していました。

